



「海底」田辺竹次氏画
読売アンデパンダン展入賞作品（1950）年代

No. 5

1918年 金屋町修理川に生れる
1937年 旧制耐久中学校卒業
1941年 東京美術学校師範科(現芸大)卒業
・グループ展や個展を中心に素朴さと優しさと愛に満ちた
作品の数々を発表された。
・2000年6月、パリでの遺作展が期待されている。

平成11年度同窓会総会

同窓会総会開催

平成十一年度同窓会総会がさる九月二十三日（秋分の日）、来賓として伏木建P.T.A.会長、福田行宏校長をお迎えし、耐久高校四階会議室で開催されました。会の始まる前には岩崎先生をリーダーとするマンドリン部OBによる演奏を鑑賞し、心を癒しました。演奏終了後、ギター・マンドリンフェスティバル全国大会において十五年連続優秀賞受賞の栄誉と功績を讃え、同窓会より褒賞と記念品を現役マンドリン部に贈呈致しました。

引き続き総会に移りましたが、経過報告に関して多方面で活躍されている諸先輩の活躍をもつと生徒に知らしめ、生徒の意欲を喚起させること等が取り上げられました。続いて予算・決算、今年度事業計画、会則の改定（会費の値上げ）や追加条項（新二十二条）等が承認され、以下に総会の主な承認事項を列記します。

①本年度活動計画

- 同窓会報発行の継続（組織強化の一環）
- 創立150周年（西暦2002年）に向けての取組み（実行委員会設立）
- 同窓会館の建設
- 同窓会記念文庫の充実

②会則の改定と追加

第8章 会 計

〈会費の値上げ〉

第16条 会員は入会に際して入会金を納入する。入会金は5,000円とし、増減の必要あるときは評議員会において決する。但し必要に応じ評議員会の議決を経て臨時費を徴収できるものとする。

第9章 付 則

〈追加条項〉

第22条 旧耐久中、有田高等女学校または耐久高等学校に在籍したことがあり本会に入会を希望する者については、会長は役員会の議決を経て正会員として入会を認めることができる。

③平成11年度決算 H11.4.1~H12.3.31

1 一般会計

収入の部

科 目	昨年度予算額	本年度予算額	比較増減	備 考
1 入会金	960,000	1,600,000	640,000	5,000円×320名
2 繰越金	20,272	124,794	104,522	
3 諸収入	60,000	60,000	0	
収入合計	1,040,272	1,784,794	744,522	

支出の部

科 目	昨年度予算額	本年度予算額	比較増減	備 考
1 運営費	370,000	410,000	40,000	
2 活動費	251,000	750,000	499,000	
3 諸 費	200,000	200,000	0	
4 繰出金	200,000	400,000	200,000	
5 予備費	19,272	24,794	5,522	
支出合計	1,040,272	1,784,794	744,522	

2 基本会計

3 積立金会計

繰越金 2,120,000	繰越金 15,403,000
繰入金 100,000	繰入金 300,000
計 2,220,000円	計 15,703,000円

石関淳司議長の手際よい運営と出席者の協力により約一時間程で盛会裏に終了しましたが、議長からの「二年の後の大総会は創立一五〇周年のこともあり、お互い誘い合にしましよう！」という呼びかけで締めくくられました。なお当日は耐久高校の文



④同窓会幹部役員

高女22	4
高女24	40
高女26	42
高女27	1
高女28	7
高女29	15
高女30	18
高女31	19
高女32	20
高女33	27
高女34	30
高女35	35
高女36	40
高女37	23
高女38	23
高女39	23
高女40	23
高女41	23
高女42	23
高女43	23
高女44	23
高女45	23
高女46	23
高女47	23
高女48	23
高女49	23
高女50	23
高女51	23
高女52	23
高女53	23
高女54	23
高女55	23
高女56	23
高女57	23
高女58	23
高女59	23
高女60	23
高女61	23
高女62	23
高女63	23
高女64	23
高女65	23
高女66	23
高女67	23
高女68	23
高女69	23
高女70	23
高女71	23
高女72	23
高女73	23
高女74	23
高女75	23
高女76	23
高女77	23
高女78	23
高女79	23
高女80	23
高女81	23
高女82	23
高女83	23
高女84	23
高女85	23
高女86	23
高女87	23
高女88	23
高女89	23
高女90	23
高女91	23
高女92	23
高女93	23
高女94	23
高女95	23
高女96	23
高女97	23
高女98	23
高女99	23
高女100	23
高女101	23
高女102	23
高女103	23
高女104	23
高女105	23
高女106	23
高女107	23
高女108	23
高女109	23
高女110	23
高女111	23
高女112	23
高女113	23
高女114	23
高女115	23
高女116	23
高女117	23
高女118	23
高女119	23
高女120	23
高女121	23
高女122	23
高女123	23
高女124	23
高女125	23
高女126	23
高女127	23
高女128	23
高女129	23
高女130	23
高女131	23
高女132	23
高女133	23
高女134	23
高女135	23
高女136	23
高女137	23
高女138	23
高女139	23
高女140	23
高女141	23
高女142	23
高女143	23
高女144	23
高女145	23
高女146	23
高女147	23
高女148	23
高女149	23
高女150	23
高女151	23
高女152	23
高女153	23
高女154	23
高女155	23
高女156	23
高女157	23
高女158	23
高女159	23
高女160	23
高女161	23
高女162	23
高女163	23
高女164	23
高女165	23
高女166	23
高女167	23
高女168	23
高女169	23
高女170	23
高女171	23
高女172	23
高女173	23
高女174	23
高女175	23
高女176	23
高女177	23
高女178	23
高女179	23
高女180	23
高女181	23
高女182	23
高女183	23
高女184	23
高女185	23
高女186	23
高女187	23
高女188	23
高女189	23
高女190	23
高女191	23
高女192	23
高女193	23
高女194	23
高女195	23
高女196	23
高女197	23
高女198	23
高女199	23
高女200	23
高女201	23
高女202	23
高女203	23
高女204	23
高女205	23
高女206	23
高女207	23
高女208	23
高女209	23
高女210	23
高女211	23
高女212	23
高女213	23
高女214	23
高女215	23
高女216	23
高女217	23
高女218	23
高女219	23
高女220	23
高女221	23
高女222	23
高女223	23
高女224	23
高女225	23
高女226	23
高女227	23
高女228	23
高女229	23
高女230	23
高女231	23
高女232	23
高女233	23
高女234	23
高女235	23
高女236	23
高女237	23
高女238	23
高女239	23
高女240	23
高女241	23
高女242	23
高女243	23
高女244	23
高女245	23
高女246	23
高女247	23
高女248	23
高女249	23
高女250	23
高女251	23
高女252	23
高女253	23
高女254	23
高女255	23
高女256	23
高女257	23
高女258	23
高女259	23
高女260	23
高女261	23
高女262	23
高女263	23
高女264	23
高女265	23
高女266	23
高女267	23
高女268	23
高女269	23
高女270	23
高女271	23
高女272	23
高女273	23
高女274	23
高女275	23
高女276	23
高女277	23
高女278	23
高女279	23
高女280	23
高女281	23
高女282	23
高女283	23
高女284	23
高女285	23
高女286	23
高女287	23
高女288	23
高女289	23
高女290	23
高女291	23
高女292	23
高女293	23
高女294	23
高女295	23
高女296	23
高女297	23
高女298	23
高女299	23
高女300	23
高女301	23
高女302	23
高女303	23
高女304	23
高女305	23
高女306	23
高女307	23
高女308	23
高女309	23
高女310	23
高女311	23
高女312	23
高女313	23
高女314	23
高女315	23
高女316	23
高女317	23
高女318	23
高女319	23
高女320	23
高女321	23
高女322	23
高女323	23
高女324	23
高女325	23
高女326	23
高女327	23
高女328	23
高女329	23
高女330	23
高女331	23
高女332	23
高女333	23
高女334	23
高女335	23
高女336	23
高女337	23
高女338	23
高女339	23
高女340	23
高女341	23
高女342	23
高女343	23
高女344	23
高女345	23
高女346	23
高女347	23
高女348	23
高女349	23
高女350	23
高女351	23
高女352	23
高女353	23
高女354	23
高女355	23
高女356	23
高女357	23
高女358	23
高女359	23
高女360	23
高女361	23
高女362	23
高女363	23
高女364	23
高女365	23
高女366	23
高女367	23
高女368	23
高女369	23
高女370	23
高女371	23
高女372	23
高女373	23
高女374	23
高女375	23
高女376	23
高女377	23
高女378	23
高女379	23
高女380	23
高女381	23
高女382	23
高女383	23
高女384	23
高女385	23
高女386	23
高女387	23
高女388	23
高女389	23
高女390	23
高女391	23
高女392	23
高女393	23
高女394	23
高女395	23
高女396	23
高女397	23
高女398	23
高女399	23

グローバル探究科新設 Global Study Course

（国際・人間）理解、国際（人間）交流が呼ばれている（人間）規模で）会でグローバルに（地球的規模で）活躍する人材の育成が望まれています。そういう観点から、今回の新設学科はときを得て、時代を先取りした素晴らしいものであると考えられます。この学科が永久に充実し、発展していくためには、ハーフ面ソフ一面でクリアしなければならない課題も沢山あります。同窓諸兄姉をはじめ、地域住民・関係諸機関のご理解・ご協力は不可欠のものと考えられます。いま学校では新学科を成功させ、普通科をより充実さ

今春（二〇〇〇年四月）より本校にグローバル探究科という新しい学科が設置されることになりました。本校では過去に理数科といふ学科を県下で最初に設置しましたが、八年後に解消したという経緯があります。そして、姉妹校交流二十年（姉妹校・米国二校、ニュージーランド一校、中国一校）という県下で一番長い歴史があります。その交流を通して多くの人材が育つてきています。

新学科の特徴

- 1 学区；全県下
 - 2 入試；推薦入試と一般入試を併用
 - 3 目標；視野が広く、国際社会で活躍する人材の育成
 - 4 文化系教科・科目の学力伸長に効果的
 - 5 総ての文化系大学の学部・学科に進学可能
 - 6 普通科同様65分授業で2学期制（前期・後期）
 - 7 特色ある専門科目の設置

①國際文化概論

……日本や世界の文化・思想などについて学び、国際理解・国際交流の基礎を養います。

②国際コミュニケーション

……海外の英語ニュース・ビデオ・インターネットなどを使って、英語のコミュニケーション能力や情報を活用する力を養います。

③国際交流探究

……姉妹校の生徒や外部講師との交流やディスカッションなどを通じて、異文化理解を深めます。

④グローバル課題探究

……郷土や日本・世界のいろいろな問題の中から、自分で課題を探究し、解決する力を養います。



1999年度
県文化表彰
文化奨励賞

本和明氏
(高・昭和51年卒)

耐久高校の卒業生としては谷口維紹氏（分子生物学・昭41年卒）酒井敏行氏（医学・昭47年卒）につぐ栄誉であり、更なる精進と期待がよせられている。

尚、県文化表彰は昭和三十九年から「文化の日」を中心に知事から贈られているもので、彫刻界では、今迄に保田春彦・木下繁・建畠覚造の三氏が各賞を受賞されてい

田辺竹次画伯の自戒より（抜粋）

私が耐久中学で教わった廣瀬校長の言葉がなぜか生きていきました

“親孝行の第一番は親を喜ばせる事、二番は親を安心させる事、三番目は親に心配をかけない事の三つでした。他の事はともかくこれだけが妙に胸にやきついていた。”

※奥様の田辺すゞ様は銀座で地球堂ギャラリーを開設。
※作品「海底」は中学時代の下宿先(湯浅町大宮通)

リカーショップタナベ 田辺博一氏所蔵。

※耐久高校に寄贈された「エンゼル」は玄関ホール、「ステンドグラス」は新体育館ホールに常設している。

特集

国際感覚を養おう!!

元国際テニス連盟・公認国際審判員

石 黒 民 子

(旧姓永岡・高15期)

拝啓、我母校耐久の諸先輩方々、同級生、後輩の皆々様、名譽あるこのコラムで今回は、平凡な主婦の私がこれまで五十五年の人生途上で出会った一風変った体験についてお話し申し上げたいと思います。

私は小さい頃から体を動かすことが大好きで、兄達と卓球やキャッチボールをしたり、はたまた夕日の美しい天州の浜辺へ行つては遠く沖に向かつて石投げをして肩を鍛えていたりしていました。高校生の頃は美智子皇后様のミッチャーで、あこがれて私も花畠先生の御指導による軟式テニス部に属しておりました。東京女子大学へ進学後は念願の硬式テニス部へ入つたところ、早大テニス部出身の若い鬼コーチがいて、(どういう訳かこの人が私の主人です)英文学を修めるつもりが熱心にテニスコ



試合前の選手とのミーティング
(ウィンブルドンにて'94)

ートに通いつめ、キャプテンを引き受け、全日本学生選手権大会に出場出来る程になりました。卒業と同時に家庭に入り、日常的にテニスを楽しめる環境にあったとはいっても、三人娘の子育てに明け暮れた十数年が続きました。そんな中で心がけたことは、娘達と一緒に英語力をつけながら常に目を外に向け国際感覚を養おうと努力したことだと思います。時々に日本テニス協会の審判の仕事もしていました。ある年、ロンドンに本部を置く国際テニス連盟が主催する公認国際審判員バッジテストのアジア、オセアニア地域教室を受講する機会が巡つてきました。テニス界の公用語は英語です。暑いマレーシア、クアランブルーでの三日間の厳しい講習会、実技、筆記、面接テストを突破出来たことは四十七才の自分を奮めてあげて余りありました。

その後仕事の場は世界へと開かれていきました。192年バルセロナオリンピック、193年ウインブルドン大会、194年全米オープン、全豪オープンへは192、'93、'94、'96年と四回参加しました。スリランカ、ブルネイ、タスマニア、ソウルなどではテニスの審判の他にも現地の人々と得がたい交流が出来ました。

私は母校耐久の諸先輩方々、同級生、後輩の皆々様、名譽あるこのコラムで今回私は、平凡な主婦の私がこれまで五十五年の人生途上で出会った一風変った体験についてお話し申し上げたいと思います。

私は小さい頃から体を動かすことが大好きで、兄達と卓球やキャッチボールをしたり、はたまた夕日の美しい天州の浜辺へ行つては遠く沖に向かつて石投げをして肩を鍛えていたりしていました。高校生の頃は美智子皇后様のミッチャーで、あこがれて私も花畠先生の御指導による軟式テニス部に属しておりました。東京女子大学へ進学後は念願の硬式テニス部へ入つたところ、早大テニス部出身の若い鬼コーチがいて、(どういう訳かこの人が私の主人です)英文学を修めるつもりが熱心にテニスコ

杯東京大会の折、引退を宣言していた当時のテニス界の女王、クリス・エバート選手の最後の公式試合の主審を有明コロシアムセンターコートで務めさせていただきました。グラフ選手対ナブラチロワ選手の試合ではクレームをつけられ、NHKの実況放送が大写しで私をとらえてしまったこともありました。審判は常に黒子に徹し、目立つてはいけないのですが、又いつも冷静で中立であらねばならないのに、伊達選手がグラフ選手に勝った時、私はネットアンパイヤーをしていて坂井監督率いる日本チームの歓喜の極みの場と同じ平面に立つて、秘かに涙が逆るのを止めることができませんでした。

数々の思い出を頭の回路の奥にきつちりとしまって、'98年に審判の世界から身を引きました。今は東京の片隅で九十三才、八十四才の義父母の至近に住み、相變らず日に焼けながらジュニア選手の育成を手伝っています。どうやら私とテニスとの出会いは一生のものとなりつつあります。一方これまでの経験を生かして市内の国際交流の活動をしたり、教育委員会の委員としても働いています。まだ人生中半の私ですが、思うに日々やつてることで無駄なものは何も無いということです。自分の置かれた状況の中で最善を尽し



同級生の石尾英次君がちょうどNTVの仕事で会場に来ていました。
(ウィンブルドンにて'94)

ていて、何か次のステップへの糧となります。私の場合、オリンピックや伝統あるウィンブルドンの芝のコートの感触が現実のものになるとは思つてもみないことでした。幸運にも叶えられたのでしたが、パルセロナでは世界から集まつた審判の人々と一緒にヴィレッジに住みました。スペインの誇るテナー、カレーラスやドミンゴが開会式を高らかに盛り上げていたのが瞼に浮びます。ウィンブルトンでは由緒あるグローヴナー・ハウスホテル夜会に招かれ、夜中の二時のみんなでイギリス国歌を歌つてお開きになつたことなどを懐しく思い出します。そのうち孫でも出未だ人口を許してくれた家族に來たら、「おばあさんはこんな体験をしたのよ」と話してあげられるといいなと思つています。

終りに、これまで私が自由に活動することを許してくれた家族に感謝しつつ、耐久同窓会の今後の発展を祈念して筆を置きます。御精読ありがとうございました。

すばらしい会報ありがとうございます

高18期(男)匿名

フレー！フレー！
耐久同窓会

高6期在京同窓会

人を愛し 自然を愛する素晴らしい人

後輩への力強いメッセージ



川柳作家
野村 太茂津

「耐久」第五号の特集として、耐久中学校編を取り上げることになり、そのテーマを「耐久出身文化人伝」と設定、今川凍光・野村太茂津・林善衛の三氏を紹介

することになりました。

三氏については既にご承知の方もおられると思いま

すが、偶然にも、朝日新聞和歌山版文芸欄で、それぞれ俳句・川柳・短歌の選者と

して活躍されておられます。同じ学校の出身者が揃い踏みというのは、大変珍しくもあり、後輩としても晴れがましいことです。

ここにお三方をご紹介し

ますので、同窓生諸氏の生

活の癒しの糧にしていただ

ければ幸甚です。

尚、編集にあたっては、お三方とも高齢であられる

ので、直接お会いしての取

[P5~7] (川柳) 野村 太茂津 (旧耐久中26期)
(俳句) 今川 凍光 (旧耐久中25期)
(短歌) 林 善衛 (旧耐久中31期)

に思われます。

野村氏はまた、川柳を学ぶメリットとして、常に多

くのこと学び、数知れぬ感動を受け、人生の素晴らしさを知り、生きることの喜びを覚え、人情の機微・物の見方・考え方・計り知れぬ人生の醍醐味を享受する

ことが出来るとしています。

森羅万象を対象とし、作

句するにあたっては、そ

こに必ず人が存在する所に

述べておられます。

著書『点滴』の中から数

点ご紹介しましょう。思わ

ずニヤリ、「その通り!」

「恥ずかしい!」それぞれご

感想を!

若人達に対する強烈なメッセージとも見ることができます。

著書『点滴』の中から数

点ご紹介しましょう。思わ

ずニヤリ、「その通り!」

「恥ずかしい!」それぞれご

感想を!

若人達に対する強烈なメッセージとも見ることができます。

著書『点滴』の中から数

点ご紹介しましょう。思わ

ずニヤリ、「その通り!」

「恥ずかしい!」それぞれご

感想を!

若人達に対する強烈なメッセージとも見ることができます。

著書『点滴』の中から数

点ご紹介しましょう。思わ

ずニヤリ、「その通り!」

「恥ずかしい!」それぞれご

感想を!

若人達に対する強烈なメッセージとも見することができます。

著書『点滴』の中から数

点ご紹介しましょう。思わ



俳人 今川凍光

のこと。求道者の探求心の厳しさに感銘を覚えた。

先生が主宰なさる句集「岬」は実に五〇〇号になんなんとし、その同人も県内は勿論、東北から九州にも及んでおり、その影響の大きさに改めて驚かされた。

朝日新聞和歌山版文芸欄俳句部門の選者「今川凍光氏」（旧姓名・沖富治氏）は、昭和七年三月耐久中学校卒業（第二五期生）。西山専門学校を経て、下津町東光寺に入籍、その後僧職の傍ら句作の道に没頭される。

過日の夕刻、下津町の東光寺に凍光先生をお訪ねした。勿論初対面であつたが僧衣姿の先生は快くお迎え下さった。取り敢えず取材の趣旨・原稿の依頼を申し上げた。

テキパキと必要事項を確認され、即座にご快諾いただく。

それから後は談論風発、先生と俳句との出会い（『人生浪漫』参照）、爾後のこの道でのご活躍のご様子など時間をお話下さいました。

『人生浪漫』今川凍光

「教室は学問をする所、メシなど喰う所ではない、メシ

新作までの作品の総てを網羅されたスクランブルブックには目を見張られた。

また、拝見は出来なかつたが、お宅の一室は句作に関する書籍や資料で埋まっている

年に入学した。

当時は、上級生は大抵高等

小学校を出ての入学であつたから、口髭などを生やしてい

て厳しく、ボロボロの手ぬぐいを腰にぶら下げ破れた帽子を得意とした。

ああ玉杯に花うけての一高・三高が憧れの蛮風が風靡していた——よき時代は続かず、入学した日から巻脚絆に編上靴、拳手の礼の軍国調に変わり、不況どん底の情ない一年生であつた。

映画館・喫茶店の出入りは不可。カフエへ行つたところを風紀係に見つかつた七人の侍が一週間の停学、みんな集つた講堂の壇上に呼びだされ、衆目に曝された。まるで人民裁判そつくりであつた。耐久を卒業して、京都の西山専門学校へ入学。部活の先輩が、新入生に我田引水式に入部を強制。俳句部に入つた。

指導者は京都俳壇の第一人者「鈴鹿野風呂」国文科主任教授で、その第一回の句会に、何と私の一句が特選に入つた。大勢の前で自分の作品が選ばれて披露される。こんな体験は生まれて初めてであつた。

爾来、昭和七年の春から今まで、句の道を休まず歩き続けて六十七年。戦いの中も、広島で被爆の日も、公職追放のトンネルの中も、一句に連

なる道の歩みは休まなかつた。

歯軋りを噛んで、我慢して

休まなかつたのではない。空氣のように、水のようにいつ

も私と共にあつたと言つてよ

かろうか。

取材者によれば、朝日新聞第三句集「合歎の木」が刊行されたが、凍光先生の俳句の神體を窺える好著のこと、特にお願いして貴重な一冊を

会文庫に保管し、永く愛読していただきことになつた。

最後に、お手紙にあるよう

に、耐久の校区である有田地

方にも、俳句に親しむ人が増え人々が自然を愛しある互いに

心の安らぎを覚え、平和な世

界が実現するようとの願いを伺つて、楽しい取材を終え

ることが出来た。尚、一九九八年度に県文化功労賞を受賞された。

しかし、小生に限つて言えば中学時代に詩や俳句を説いてくれた先生はいなかつた。

村太茂津氏、そして俳句の

短歌（林善衛氏）・川柳（野

八年余りになるが、耐久の校区

である広川・湯浅・吉備・金屋等からの俳句の投稿者が、

他の市町に比べて一向に振るわないので何が原因なのか分からぬ。

世の中の盛り上がりの底辺には必ず文芸の復興がある。

有田の復興は文芸からの感を深くしてやまない。

ダメじや、和中へ行つたら野球に人だかりしている一方、そんなことに俺らは関係ないぞと水泳の連中が泳いでいる。

人は人、己は己の道を見付けてしつかり歩め」と諭されたこと、昨日のように新鮮である。

と諭されたこと、昨日のよ

うに新鮮である。

やれカラオケだ、ゲートボ

ールだ、海外旅行だと浮かれ

る中で、毎日こつこつと自然との出会いの喜びをせめて歌

や俳句に読み込んで行く日暮

らし、そんな歩み方を選んでいただけたらあなたの人生

は、もつともつと愉しく豊かになるに違いない。

ウソではない、歩いて確かめていただきたい。

今川氏作品

・合歎のはなあ世この世のこの世花

・マフラーに洗濯シール賀詞の客

・声かけしばかりに蜜柑採つて呉る

・石庭の石半分は日向ぼこ

・花了へし蜜柑男の乳首ほど

・仮燭の火先錐なす露淨土

・軽石で踵磨けり冬至風呂

の数学の先生が、「お前らは歌句集『合歎の木』より



JAありだ

TEL 0737-53-2311代

歌人
林 善衛



「私の耐久と短歌」

林 善衛

もう六十年前の昔、私の在学した三十一期とは、創立八十周年記念行事のあつた昭和八年から十三年まで、軍事教練に明け暮れて、時代が悪かつたとしか言いようのない、

林氏は、昭和十三年二月、耐久中学校第三十一期生として卒業され、父祖の地（湯浅町大字田出雲）で家業の農業を中心いて、品質向上の研究にも情熱を注がれながら和歌の道に進まれました。（自伝参考照）

氏のお宅は、明惠上人修行の聖地「東白上」を頭上に仰ぎ見る、静かな環境の中にある、その土の中から広い視野を持つて作歌に没頭されてまいりました。

源流短歌会を主宰され、機関誌「かぐのみ」は、発刊以来通巻四〇〇巻になんなんとし、同人も広く全国に及んでいます。歌集の中に、母校の同窓の方々の名前が見られるのも楽しい。

氏は、現在日本歌人クラブ参与・現代歌人協会会員・朝日・産経両新聞芸芸欄の選者として、お元気で活躍しておられます。

今日では想像も付かぬ悲劇的な青春前期であつた。この忌まわしい十五年戦争のため、卒業生も五十八名中、半分以上も何らかの理由で犠牲になつていることからも分かる。

それが後一年で百五十周年を迎えるというのだから、感慨無量で夢のような気がする。私が旧制中学校の思い出は深い。そんな時代だつたにもかかわらず、小学生の頃からかすかな難聴というハンディで、人知れず悩んでいた私が、すべての面で厚い友情に支えられて、聴力減少の進む中での出来た喜びである。

卒業後は農家の長男として家業に従事しながら、在校時代の延長として、好きな万葉集に親しんで来たと言つてよいだろう。こうしてまだ短歌結社も知らないまま、山の中でも次第に宗教的な信仰となるのも楽しい。

林氏は、昭和十三年二月、耐久中学校第三十一期生として卒業され、父祖の地（湯浅町大字田出雲）で家業の農業を中心いて、品質向上の研究にも情熱を注がれながら和歌の道に進まれました。（自伝参考照）

氏のお宅は、明惠上人修行の聖地「東白上」を頭上に仰ぎ見る、静かな環境の中にある、その土の中から広い視野を持つて作歌に没頭されてまいりました。

源流短歌会を主宰され、機

も続いている「真・健・美」という三綱領があつた。これがそのまま私の作歌の信条とする「生活アリズムの真善美の追求」という言葉に受け継がれていたことにも、目に見えない因縁を感じている。

この三綱領から「三二会」という部活動で耐久の名をあげたのだった。私はこの「三二会」では地味な図書部にいたために、卒業生も五十八名中、半分以上も何らかの理由で犠牲になつていることからも分かる。

それが後一年で百五十周年を迎えるというのだから、感慨無量で夢のような気がする。私が旧制中学校の思い出は深い。そんな時代だつたにもかかわらず、小学生の頃からかすかな難聴というハンディで、人知れず悩んでいた私が、すべての面で厚い友情に支えられて、聴力減少の進む中での出来た喜びである。

卒業後は農家の長男として

家業に従事しながら、在校時

代の延長として、好きな万葉

集に親しんで来たと言つてよ

いだろう。こうしてまだ短歌

結社も知らないまま、山の中

でも次第に宗教的な信仰となるのも楽しい。

林氏は、昭和十三年二月、耐久中学校第三十一期生として卒業され、父祖の地（湯浅町大字田出雲）で家業の農業を中心いて、品質向上の研究にも情熱を注がれながら和歌の道に進まれました。（自伝参考照）

氏のお宅は、明惠上人修行の聖地「東白上」を頭上に仰

ぎ見る、静かな環境の中にある、その土の中から広い視野

を持つて作歌に没頭されてま

いりました。

源流短歌会を主宰され、機

関誌「かぐのみ」は、発刊以

来通巻四〇〇巻になんと

し、同人も広く全国に及んで

います。歌集の中に、母校の

同窓の方々の名前が見られる

のも楽しい。

林氏は、現在日本歌人クラブ

参与・現代歌人協会会員・朝

日・産経両新聞芸芸欄の選者

として、お元気で活躍してお

られます。

源流短歌会を主宰され、機関誌「かぐのみ」は、発刊以来通巻四〇〇巻になんとし、同人も広く全国に及んでいます。歌集の中に、母校の同窓の方々の名前が見られるのも楽しい。

語られているので、「一読を勧めたい。木下画伯には「かぐのみ」の表紙絵のお世話になつたのが懐かしい。私の処女歌集「等高線」を出して間もない昭和三十年三月には、「人民短歌」の渡辺順三の来和を機に母校耐久で石川啄木を巡つての講演をお願いしたことでもありました。いろいろと思い出は尽きないので、みんな故人になつてしまつたのが寂しい。

昭和二十九年「短歌研究」の第一回五十首に入選して歌壇に出るチャンスを掴んだ私は、その余勢を駆つて和歌山県歌人クラブを発足させたこともあります。しかし、所属結社は

昭和二十二年に参加した渡辺

順三氏の「人民短歌」（後の「新

日本歌人」）が最初であった。

昭和五十六年、東京の病院

長竹内長次（第十九回卒業）

氏から贈られた歌集「献体」

から「北山万葉」で名高い北

山茂夫氏や、日本芸術院会員

の木下繁画伯の知遇を得たのも同じ耐久の先輩だったからである。北山氏の「中学時代の竹内長次とその周辺」という長い跋文は、そのまま耐久校史の黄金時代の侧面を伝えるので、耐久の同窓からも俵万

貴重なドキュメントである。

多數の人物がふるさと湯浅

を中心とした当時の同窓生のリベ

ラルとロマンに満ちた交友が

語られているので、「一読を勧めたい。木下画伯には「かぐのみ」の表紙絵のお世話になつたのが懐かしい。私の処女歌集「等高線」を出して間もない昭和三十年三月には、「人民短歌」の渡辺順三の来和を機に母校耐久で石川啄木を巡つての講演をお願いしたことでもありました。いろいろと思い出は尽きないので、みんな故人になつてしまつたのが寂しい。

昭和二十九年「短歌研究」の第一回五十首に入選して歌壇に出るチャンスを掴んだ私は、その余勢を駆つて和歌山県歌人クラブを発足させたこともあります。しかし、所属結社は

昭和二十二年に参加した渡辺

順三氏の「人民短歌」（後の「新

日本歌人」）が最初であった。

昭和五十六年、東京の病院

長竹内長次（第十九回卒業）

氏から贈られた歌集「献体」

から「北山万葉」で名高い北

山茂夫氏や、日本芸術院会員

の木下繁画伯の知遇を得たのも同じ耐久の先輩だったからである。北山氏の「中学時代の竹内長次とその周辺」という長い跋文は、そのまま耐久校史の黄金時代の侧面を伝えるので、耐久の同窓からも俵万

貴重なドキュメントである。

多數の人物がふるさと湯浅

を中心とした当時の同窓生のリベ

ラルとロマンに満ちた交友が

語られているので、「一読を勧めたい。木下画伯には「かぐのみ」の表紙絵のお世話になつたのが懐かしい。私の処女歌集「等高線」を出して間もない昭和三十年三月には、「人民短歌」の渡辺順三の来和を機に母校耐久で石川啄木を巡つての講演をお願いしたことでもありました。いろいろと思い出は尽きないので、みんな故人になつてしまつたのが寂しい。

昭和二十九年「短歌研究」の第一回五十首に入選して歌壇に出るチャンスを掴んだ私は、その余勢を駆つて和歌山県歌人クラブを発足させたこともあります。しかし、所属結社は

昭和二十二年に参加した渡辺

順三氏の「人民短歌」（後の「新

日本歌人」）が最初であった。

昭和五十六年、東京の病院

長竹内長次（第十九回卒業）

氏から贈られた歌集「献体」

から「北山万葉」で名高い北

山茂夫氏や、日本芸術院会員

の木下繁画伯の知遇を得たのも同じ耐久の先輩だったからである。北山氏の「中学時代の竹内長次とその周辺」という長い跋文は、そのまま耐久校史の黄金時代の侧面を伝えるので、耐久の同窓からも俵万

貴重なドキュメントである。

多數の人物がふるさと湯浅

を中心とした当時の同窓生のリベ

ラルとロマンに満ちた交友が

語られているので、「一読を勧めたい。木下画伯には「かぐのみ」の表紙絵のお世話になつたのが懐かしい。私の処女歌集「等高線」を出して間もない昭和三十年三月には、「人民短歌」の渡辺順三の来和を機に母校耐久で石川啄木を巡つての講演をお願いしたことでもありました。いろいろと思い出は尽きないので、みんな故人になつてしまつたのが寂しい。

昭和二十九年「短歌研究」の第一回五十首に入選して歌壇に出るチャンスを掴んだ私は、その余勢を駆つて和歌山県歌人クラブを発足させたこともあります。しかし、所属結社は

昭和二十二年に参加した渡辺

順三氏の「人民短歌」（後の「新

日本歌人」）が最初であった。

昭和五十六年、東京の病院

長竹内長次（第十九回卒業）

氏から贈られた歌集「献体」

から「北山万葉」で名高い北

山茂夫氏や、日本芸術院会員

の木下繁画伯の知遇を得たのも同じ耐久の先輩だったからである。北山氏の「中学時代の竹内長次とその周辺」という長い跋文は、そのまま耐久校史の黄金時代の侧面を伝えるので、耐久の同窓からも俵万

貴重なドキュメントである。

多數の人物がふるさと湯浅

を中心とした当時の同窓生のリベ

ラルとロマンに満ちた交友が

語られているので、「一読を勧めたい。木下画伯には「かぐのみ」の表紙絵のお世話になつたのが懐かしい。私の処女歌集「等高線」を出して間もない昭和三十年三月には、「人民短歌」の渡辺順三の来和を機に母校耐久で石川啄木を巡つての講演をお願いしたことでもありました。いろいろと思い出は尽きないので、みんな故人になつてしまつたのが寂しい。

昭和二十九年「短歌研究」の第一回五十首に入選して歌壇に出るチャンスを掴んだ私は、その余勢を駆つて和歌山県歌人クラブを発足させたこともあります。しかし、所属結社は

昭和二十二年に参加した渡辺

順三氏の「人民短歌」（後の「新

日本歌人」）が最初であった。

昭和五十六年、東京の病院

長竹内長次（第十九回卒業）

氏から贈られた歌集「献体」

から「北山万葉」で名高い北

山茂夫氏や、日本芸術院会員

の木下繁画伯の知遇を得たのも同じ耐久の先輩だったからである。北山氏の「中学時代の竹内長次とその周辺」という長い跋文は、そのまま耐久校史の黄金時代の侧面を伝えるので、耐久の同窓からも俵万

貴重なドキュメントである。

多數の人物がふるさと湯浅

を中心とした当時の同窓生のリベ

ラルとロマンに満ちた交友が

語られているので、「一読を勧めたい。木下画伯には「かぐのみ」の表紙絵のお世話になつたのが懐かしい。私の処女歌集「等高線」を出して間もない昭和三十年三月には、「人民短歌」の渡辺順三の来和を機に母校耐久で石川啄木を巡つての講演をお願いしたことでもありました。いろいろと思い出は尽きないので、みんな故人になつてしまつたのが寂しい。

昭和二十九年「短歌研究」の第一回五十首に入選して歌壇に出るチャンスを掴んだ私は、その余勢を駆つて和歌山県歌人クラブを発足させたこともあります。しかし、所属結社は

昭和二十二年に参加した渡辺

順三氏の「人民短歌」（後の「新

日本歌人」）が最初であった。

昭和五十六年、東京の病院

長竹内長次（第十九回卒業）

氏から贈られた歌集「献体」

から「北山万葉」で名高い北

山茂夫氏や、日本芸術院会員

の木下繁画伯の知遇を得たのも同じ耐久の先輩だったからである。北山氏の「中学時代の竹内長次とその周辺」という長い跋文は、そのまま耐久校史の黄金時代の侧面を伝えるので、耐久の同窓からも俵万

貴重なドキュメントである。

多數の人物がふるさと湯浅

を中心とした当時の同窓生のリベ

ラルとロマンに満ちた交友が

語られているので、「一読を勧めたい。木下画伯には「かぐのみ」の表紙絵のお世話になつたのが懐かしい。私の処女歌集「等高線」を出して間もない昭和三十年三月には、「人民短歌」の渡辺順三の来和を機に母校耐久で石川啄木を巡つての講演をお願いしたことでもありました。いろいろと思い出は尽きないので、みんな故人になつてしまつたのが寂しい。

昭和二十九年「短歌研究」の第一回五十首に入選して歌壇に出るチャンスを掴んだ私は、その余勢を駆つて和歌山県歌人クラブを発足させたこともあります。しかし、所属結社は

昭和二十二年に参加した渡辺

順三氏の「人民短歌」（後の「新

日本歌人」）が最初であった。

昭和五十六年、東京の病院

長竹内長次（第十九回卒業）

氏から贈られた歌集「献体」

から「北山万葉」で名高い北

山茂夫氏や、日本芸術院会員

の木下繁画伯の知遇を得たのも同じ耐久の先輩だったからである。北山氏の「中学時代の竹内長次とその周辺」という長い跋文は、そのまま耐久校史の黄金時代の侧面を伝えるので、耐久の同窓からも俵万

貴重なドキュメントである。

多數の人物がふるさと湯浅

を中心とした当時の同窓生のリベ

ラルとロマンに満ちた交友が

語られているので、「一読を勧めたい。木下画伯には「かぐのみ」の表紙絵のお世話になつたのが懐かしい。私の処女歌集「等高線」を出して間もない昭和三十年三月には、「人民短歌」の渡辺順三の来和を機に母校耐久で石川啄木を巡つての講演をお願いしたことでもありました。いろいろと思い出は尽きないので、みんな故人になつてしまつたのが寂しい。

昭和二十九年「短歌研究」の第一回五十首に入選して歌壇に出るチャンスを掴んだ私は、その余勢を駆つて和歌山県歌人クラブを発足させたこともあります。しかし、所属結社は

昭和二十二年に参加した渡辺

順三氏の「人民短歌」（後の「新

日本歌人」）が最初であった。

昭和五十六年、東京の病院

長竹内長次（第十九回卒業）

氏から贈られた歌集「献体」

から「北山万葉」で名高い北

山茂夫氏や、日本芸術院会員

の木下繁画伯の知遇を得たのも同じ耐久の先輩だったからである。北山氏の「中学時代の竹内長次とその周辺」という長い跋文は、そのまま耐久校史の黄金時代の侧面を伝えるので、耐久の同窓からも俵万

貴重なドキュメントである。

多數の人物がふるさと湯浅

を中心とした当時の同窓生のリベ

ラルとロマンに満ちた交友が

語られているので、「一読を勧めたい。木下画伯には「かぐのみ」の表紙絵のお世話になつたのが懐かしい。私の処女歌集「等高線」を出して間もない昭和三十年三月には、「人民短歌」の渡辺順三の来和を機に母校耐久で石川啄木を巡つての講演をお願いしたことでもありました。いろいろと思い出は尽きないので、みんな故人になつてしまつたのが寂しい。

昭和二十九年「短歌研究」の第一回五十首に入選して歌壇に出るチャンスを掴んだ私は、その余勢を駆つて和歌山県歌人クラブを発足させたこともあります。しかし、所属結社は

昭和二十二年に参加した渡辺

順三氏の「人民短歌」（後の「新

日本歌人」）が最初であった。

昭和五十六年、東京の病院

長竹内長次（第十九回卒業）

氏から贈られた歌集「献体」

から「北山万葉」で名高い北

山茂夫氏や、日本芸術院会員

の木下繁画伯の知遇を得たのも同じ耐久の先輩だったからである。北山氏の「中学時代の竹内長次とその周辺」という長い跋文は、そのまま耐久校史の黄金時代の侧面を伝えるので、耐久の同窓からも俵万

貴重なドキュメントである。

多數の人物がふるさと湯浅

を中心とした当時の同窓生のリベ

ラルとロマンに満ちた交友が

語られているので、「一読を勧めたい。木下画伯には「かぐのみ」の表紙絵のお世話になつたのが懐かしい。私の処女歌集「等高線」を出して間もない

俳人
今川凍光



朝日新聞和歌山版文芸欄俳句部門の選者「今川凍光氏」

(旧姓名・沖富治氏)は、昭和七年三月耐久中学校卒業

(第一五期生)。西山専門学校を経て、下津町東光寺に入籍、その後僧職の傍ら句作の道に没頭される。

過日の夕刻、下津町の東光寺に凍光先生をお訪ねした。勿論初対面であつたが僧衣姿の先生は快くお迎え下さつた。取り敢えず取材の趣旨・原稿の依頼を申し上げた。

テキパキと必要事項を確認され、即座にご快諾いただく。

それから後は談論風発、先生と俳句との出会い(『人生浪漫』参照)、爾後のこの道でのご活躍のご様子など時間をお聞き下さった。

就中、先生の処女作から最新作までの作品の総てを網羅されたスクラップブックにはまた、拝見は出来なかつたが、お宅の一室は句作に関する書籍や資料で埋まっている

のこと。求道者の探求心の厳しさに感銘を覚えた。

先生が主宰なさる句集「岬」は実に五〇〇号になんなんとし、その同人も県内は勿論、東北から九州にも及んでおり、その影響の大きさに改めて驚かされた。

平成十一年十月二十八日先

生八十五歳の誕生日に先生の第三句集「合歡の木」が刊行されたが、凍光先生の俳句の神髄を窺える好著のこと、特にお願いして貴重な一冊を

ご寄贈賜り耐久図書館「同窓会文庫」に保管し、永く愛読していただきことになった。

最後に、お手紙にあるように、耐久の校区である有田地区にも、俳句に親しむ人が増え人々が自然を愛しある世

界が実現するようとの願いを伺つて、楽しい取材を終えることが出来た。尚、一九九八年度に県文化功労賞を受賞された。

「人生浪漫」今川凍光

小学校を出ての入学であつたから、口髭などを生やしていて厳しく、ボロボロの手ぬぐいを腰にぶら下げ破れた帽子を得意とした。
ああ玉杯に花うけての一本高・三高が憧れの蛮風が風靡していた——よき時代は続かず、入学した日から巻脚紺に編上靴、拳手の礼の軍国調に変わり、不況どん底の情ない一年生であつた。

映画館・喫茶店の出入りは不可。カフエへ行つたところを風紀係に見つかつた七人の侍が一週間の停学、みんな集つた講堂の壇上に呼びだされ、衆目に曝された。まるで人民裁判そつくりであつた。

耐久を卒業して、京都の西山専門学校へ入学。部活の先輩が、新入生に我田引水式に入部を強制。俳句部に入った。指導者は京都俳壇の第一人者「鈴鹿野風呂」国文科主任教授で、その第一回の句会に、何と私の一句が特選に入つた。大勢の前で自分の作品が選ばれて披露される。こんな体験は生まれて初めてであつた。

爾来、昭和七年の春から今まで、句の道を休まず歩き続けて六十七年。戦いの中も、広島で被爆の日も、公職追放のトンネルの中も、一句に連

なる道の歩みは休まなかつた。

歯軋りを噛んで、我慢して休まなかつたのではない。空

気のように、水のようにつ

も私と共にあつたと言つてよ

かるうか。

取材者によれば、朝日新聞

和歌山版の文芸欄の選者は、

短歌(林善衛氏)・川柳(野

村太茂津氏)、そして俳句の

私と、揃つて耐久出身ですと

のことである。

しかし、小生に限つて言え

ば中学時代に詩や俳句を説いてくれた先生はいなかつた。

軍国調一点張りから解放され

て、雀躍りするような少年の

心に、先輩が強引に蒔きつけ

た一粒の種子が、私の胸に育

つたと言つてよからうか。間違つて播かれた種が芽生えた

と言うべきか。

朝日の俳壇を担当して二十

年余りになるが、耐久の校区

である広川・湯浅・吉備・金

屋等からの俳句の投稿者が、

他の市町に比べて一向に振る

わないのは何が原因なのか分

からない。

世の中の盛り上がりの底辺には必ず文芸の復興がある。

有田の復興は文芸からの感を深くしてやまない。

ブルドックと呼ばれた耐久

の数学の先生が、「お前らは

ダメじゃ、和中へ行つたら野球に人だかりしている一方、そんなことに俺らは関係ないぞと水泳の連中が泳いでいる」た。

人は人、己は己の道を見付けてしつかり歩め

と諭されたこと、昨日のよ

うに新鮮である。

やれカラオケだ、ゲートボ

ールだ、海外旅行だと浮かれ

る中で、毎日こつこつと自然

との出会いの喜びをせて歌

や俳句に読み込んで行く日暮

らし、そんな歩み方を選んでいただけたらあなた的人生

は、もつともつと愉しく豊か

になるに違いない。

ウソではない、歩いて確かめていただきたい。

ダメじゃ、和中へ行つたら野

球に人だかりしている一方、

そんなことに俺らは関係ない

ぞと水泳の連中が泳いでいる

た。

JAありだ

高女10期 薮前うた
「回 想」

私が入学した昭和二年四月頃汽車は藤並まででした。有鉄に乗りかえ今裁判所の所が駅でした。六月夏服になるまでは着物に海老茶の袴で通いました。

当時の校長先生は岩本隆

美先生と申され、スポーツや芸術的な面で大変熱心な方でした。私達一年生の時は夏休みにはコーチに人見絹枝様、二年生は南部忠平様を招いて下さいました。

私は個人競技の指導も受けましたが主にバレーでした。当時バレーは神戸高商が全国でも有名で、其の高商の三枝先生をお招き頂き指導を受けました。そして三年生の時第五回明治神宮大会に県代表として出場する事が出来ました。

試合当日は雨で学習院の体育館が私達の試合会場でした。会場は木造で天井に梁があり梁の間をボールが飛び交いました。相手は九州の白杵高女でした。屋内での試合経験はなく気が落ち着かず敗れてしましました。

専攻科の時は第六回大会で円板と砲丸投に参加。其の

時も十種競技の第一人者、村上先生をコーチに招いて下さつて居りました。

又芸術的な面で当時四千円でグランドピアノを買って頂きました。そして上野音楽学校教授で声楽家の永井郁子先生を二年続けてお招き頂き伴奏の方も何曲かを独奏下さいました。翌年にはチエロの名手高勇吉氏をお招き頂きました。チエロという楽器を初めて見ました。当時はラジオさえ各戸にない時代 田舎では到底見る事も聴く事も出来ない演奏を聴く事が出来ました。又高氏の夫人はドイツ人でステージダンスというのも見せて頂きました。

古典では能狂言の方々もお招き下さいました。何と言ふ狂言だったか忘れましたが其の表現と所作に興味をそぞられました。

岩本校長先生は私達が四年生の後期事故でお亡くなりになりました。

平成十一年十二月十五日

伝 言 板



松本やえ子先生の
住居番号が変りました
豊橋市前田南町2丁目11の4
(郵便番号440-0851)

同窓会情報提供・会報送付依頼

今後、各期同窓会、地域・職場等の同窓会が開催されました時は、その情報を提供いただければ幸いです。また本会報の購読・送付をご希望の方は、お気軽に事務局までご連絡下さい。

「同窓会文庫」へのご協力を

本校図書館には、同窓生からの寄贈図書や卒業生の著書等を収集した「同窓会文庫」が設置されています。本コーナーの一層の充実を図るため、現在卒業生の著書の収集に取り組んでいるところです。ご存じの著書がございましたら、ご紹介・ご寄贈いただきたくお願いします。

有田高女同窓会よりお願ひ

会員の住所変更及び異動がありましたら、お気付きの方は本部へお知らせ下さい。会報第五号は今春クラス会を開く時、世話人の方は恐れ入りますが配布お願い致します。本部へ連絡頂ければ人数分お届け致します。

本部〒443-1004 有田郡湯浅町湯浅二〇一

伏木富紀子迄 電話〇七三七一六二一五〇

耐久高校同窓会



J Aありだ

組合長 富上喜作
本所 有田郡吉備町天満17-1
TEL 0737-53-2311
支所 有田市・有田郡内 25支所

SHIMODE DENTAL CLINIC
医療法人 わかしお会
下出歯科

下出 優 (高・理数2期・S48卒)
有田郡広川町広292-1
TEL (0737) 63-6482

処方せん受付
カメヤ薬局
亀本貴司 (高11期)

TEL(0737) 62-3207 FAX(0737) 62-4391
金英除虫菊株式会社

代表取締役社長 戸田龍吾 (高15期)
広川町下津木72の1 Tel. 0737-67-2216

かせ屋	かせ屋

副社長 瀬藤悦二 (高19期)

清酒 天久・紀勢鶴 地酒 くまのみち 10年熟成酒 月の旅人 釀造元 高垣酒造場 金屋町小川 TEL.(0737)34-2109



『卒業五十周年の集い』

(後藤 豊記)

二〇〇〇年一月三日。

耐久35会(昭和35年卒)



高校1期 同窓会(於 小川正)

高校一期生同窓会だより
卒業後五十周年を記念して同窓会が開かれた。耐久中学、或は有田高女としては、それぞれ同窓会は毎年開かれていたが、耐久高校一期生としての同窓会は、今回が初めてでした。数年前から話題となっていたが、今年になって漸く実現した。

七月二十四日、湯浅町の「小川正」に十七名が出席した。六十四名の卒業生の中、既に十三名が鬼籍に入つたとの事で、物故者の冥福を

祈り黙祷を捧げたあと、開宴した。西島(林)志げ子・祢宜貞雄両氏の司会では進み、世話を代表して松井(伏木)順子氏の挨拶では、同窓会を開くまで

の色々のご苦労を、ユーモアをまじえながら、楽しく話された。そして来賓の広井先生からは、新制高校発足時の雑然とした時代に、私達一期生が個性豊かに高校生活を送っていたなどの話があった。

記念撮影のあとは、おいしく料理と酒を味わいながら、何組かの男女のグループで、時には先生をかこんで思い出の半世紀を語り合つた。一時すぎから五時すぎまで、延々と話しこんだあと、最後になつかしい校歌を齊唱して散会した。

私達はもうすぐ古稀という年令を迎えるので、契機として、今後は一年毎の再会を約した。お互いに健康に留意し、これから的人生を幸福に有意義にすごしたい。

さつた恩師三人の先生とも、昔の学校の様子をつい昨日の出来事であつたかのように、懐かしく語りあいました。



35会(高校12期) 同窓会(於 有田観光ホテル)

150年の歴史に新たな1ページ
祝 グローバル探究科新設

耐久高校同窓会

橋本佳巳

住む人の心にひまる木の香り

△木材と金物△

戸野製材株式会社

戸野圭一(高5期)
湯浅町2735-1 TEL 63-1161

ホームセンター クラノ

戸野晋(高18期)
湯浅町1808-5 TEL 63-3162

本と文具の店

赤善書店

赤桐あい(高女21期)
TEL (0737) 62-2946
FAX (0737) 63-6858

カラープリント・APS・スピード仕上
各種記念写真・出張撮影

ユピア フォトショップブルーラナバ

湯浅町湯浅1852(ユピア1F)
TEL(FAX) 63-2170

たたえよ耐久
栄えよ耐久同窓会

亮克
戸
田
荒
有
穎
彰
(高6期同期生)



高校4期生 於(伊豆)大仁ホテル 1999.10.3

『あら楽し 年に一度の同窓会 天城を越えん 六十路の半ば』

毎年続けられている第四期同窓会は、今年は七年ぶりに「東京グループ」が幹事となり、伊豆への一泊バスターとして開催されました。

十月三日昼過ぎ、恩師広井隆先生、同期生四十八名（男女同数）と幹事に加わっていただきいた旧耐中同期生一名が熱海駅に集合。

バスで伊東市城ヶ崎海岸に到着、少ししんどい起伏の道を歩き、入り江を見下す吊り橋を渡つて、海辺の風光を満喫しました。それから伊豆スカイラインで山越え、修善寺に立ち寄り、夕刻宿泊先の大仁ホテルに着きました。

記念写真撮影後、池端義夫君の司会で開宴。まず物故者に黙祷、幹事代表の五百崎博巳君の挨拶、毎年の参加を楽しみにしておられるという広井先生のご挨拶の後、橋本佳巳君の音頭で乾杯、歓談に移りました。

今年のハイライトは、西邑孝君の提案で、宇宙飛行の向井千秋さんに因み、「あら楽し、年に一度の同窓会」

に続く下の句を参加者から募り、優秀作を宴会の途中で発表したことでした。寄せられた約六十首の選考は

宴会に先立つて、広井先生ほか五名で大忙しで行い、宴席で先生から授賞していただきました。金賞は、表題に掲げた川口静彦君の一

首、銀賞は、「旧姓呼びて肩たたきあう（木村沢子）」銅賞は、「久しい笑顔に刻む年

輪（橋野隆平）」、「君の笑顔に生きるよろこび（亀井慶子）」、「友情の深まり年たつ

ほどに（岩崎弥生）」でした。

広井先生からも、「教師の冥利に尽きる嬉しさ」、「想いこがれし彼女まぶしく」の二首をいただきました

〔彼女はだれ?〕の声)。

カラオケなども入つて、約二時間賑やかな宴は続き、校歌齊唱、手拍子でお開きとなりました。

翌日は、「天城越え」の歌で有名になつた淨蓮の滝の見物、土肥金山坑内巡り、砂金取り体験などを楽しんで昼食。午後は土肥港から高速船で富士山を前方に見ながら沼津港へ。来年和歌山での再会を約して、三島駅で解散しました。

(津村 建四郎記)

高六期在京同窓会便り

今年は秋晴れの十月三十日に東京ドームの隣り水戸藩ゆかりの小石川後楽園で開かれました。

故郷を遠く離れて何十年、それぞれの地に根を下ろした同級生が、一年に一度集まつてはるか故郷をしひ母校を思い出す楽しい集いになりました。

来年は箱根あたりで一泊旅行を計画しています。

全国の高六期の皆さんのが参加を歓迎します。連絡は〇四六二・六三・一八九四浜野まで。

(中村久和記)



第6期 在京生

会則追加(付則)

本校に在籍し、途中で転校された方の中で本会に入会を希望される方達を歓迎いたします。

お友達の情報を事務局迄ご一報下さい。

絆 バレーボール部の巻

バレーボール部顧問

辻岡俊明

たちの
バレーボール部(男子)
は、かつては全国大会
(インターハイ・国体・
春高バレー)十四回出場

部活OB・OGを果たし(うちベスト8、
ベスト16各一回)、県内

では「常勝耐久」の名を欲
しいままにしていた時期が
ありました。当時の女子の
レベルも高く、決勝まで進
出とか県内ベスト4入りも
数回ありました。

毎年一月二日は現役部員
の初練習の日となっていました。
このときは全国各地より、遠くは東京・広島から
もOBGらが大勢駆け付け、入れ替わり立ち替わりで現
役部員に胸を貸して、朝から夕までバレーボールを堪
能するまで楽しんでいます。

役員には負けません。彼等はいまも「耐久俱楽部」とい
うクラブチームをつくり、毎年試合に出場しています。
二十年前は初練習のとき、練習相手として先輩方
に来ていただくために、案内状を出したり、電話をし
たりしました。それでも来

ていただけの方は数名でした。
た。そのことを思うと今日
の賑わいには隔世の感があり
ります。

その日の夜はOBGらが
某所に集まり、料理をつつき酒を傾けながら、昔話・
思い出話や現在のクラブのこと・学校のこと・恩師の
こと・職場のこと等に話の華を咲かせます。これは毎
年のことであります。驚くほどに新鮮です。みんな
歳をとつても若いからだと思います。

直径二十cmの白球は時を超えて、多くの人間を結びつけ、語り合わせてくれています。この小さな白球から、その人生に大きな影響を与えた人もいます。青春の一時期、白球がとりもつ縁で巡り会った人々が時と場所を共有し、つかりお願いします。

「たかがバレーボール、されどバレーボール!」の想いを強くする今日この頃です。

同窓
俳 壇

市ノ瀬伊久男 (職員)

・冬の月 夜間飛行の 灯が通る
・天空に 冬三ヶ月と 星一つ

同窓
歌 壇
春の音 矢樅洋子 (高3期)

・琵琶の音に誘はれ出づる十六夜の
月の明るき杜を照らしぬ

・過去を追う日々となりつつ染め替えし
春着に地紋の花柄の浮く

見据えてる眼に閃光はしる

中内京子 (高15期)

・夢ひとつ崩るるごとき現実を
葉に取り組んでいます。
なお会報に関わる問い合わせ(会報送付依頼、同窓会情報提供等)は、遠慮なく事務局までいただきたい

◎有難いご支援の数々

・同窓会報が待ち遠しくなるのは年の所為でしょうか。編集者の皆さんに感謝申します。

・立派な会報ありがとうございます。

高卒 (女)

・創立百五拾年も日々近くなり頭が痛いでしょ

旧耐中39期同窓会様
旧耐中42期同窓会様
高校1期同窓会様

より頂きました。

・今回も各期より同窓会時の残余金を会報への補助金として

ブラジルの桑原保

・高垣酒造様より、収集されていた記念切手シートを沢山頂きました。

・会報の効用は大きいと思います。折角のいい情報を、もっと多くの人に読んでもらいたいもんだね。希望者を募つて年会費でも取ればいいのに…。

※お詫びと訂正……

四号十二頁 執事→執筆

『編集後記』

同窓会報も第五号を発行することができました。ホットする間もなく次の会報作りを目指していざスター

トの状態です。次の特集を作りを目標していざスター

何にするか、表紙をどうするか、中味をどうするか、

広告集めをどうするか等々息つく暇もありません。当

初、年二回の発行は少ないかなとも思いましたが、いざ取り組んでみると締め切り日に追い回される状況で

す。それでも組織の強化・活性化のために「いま一番の記事・情報を!」を合言葉に取り組んでいます。

なお会報に関わる問い合わせ(会報送付依頼、同窓会情報提供等)は、遠慮なく事務局までいただきたく

思っております。

そして今回も、多忙な中、執筆・投稿していただいた方々、またこの厳しい不況下で補助広告を快く引き受けたいただいた方々に心より感謝申し上げます。

そこで今回も、多忙な中、執筆・投稿していただいた方々、またこの厳しい不況下で補助広告を快く引き受けたいただいた方々に心より感謝申し上げます。

そこで今回も、多忙な中、執筆・投稿していただいた方々、またこの厳しい不況下で補助広告を快く引き受けたいただいた方々に心より感謝申し上げます。